



「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、教育研究所から発信する情報の周知を目的として、発行していきます。

令和元年・2年・3年度 高知市研究協力校(教育課程)研究発表会

令和2年11月6日(金)実施

人のかかわりを深め、共のびる子どもを育てる ～体育科における、主体的・対話的で深い学びの探究～

研究発表

「体育を学ぶ喜びを実感させるための授業づくり」の四つの視点

単元(教材)デザイン

仲間同士の関係性(かかわり)デザイン

環境(場や用具)デザイン

フィードバック(ふり返り)と評価)デザイン

1 単位時間の基本的な流れ

白帽子、あご紐、シャツのスポンイン、靴紐、かかと等



- ① 集合、身支度、心構えをして元気に挨拶
(運動に合わせた集合場所、隊形で起立して挨拶)
- ② 心と体のスイッチオン!(体ほぐし・予備的な運動)
- ③ 課題確認、活動の見通し
- ④ 活動1 (協働学習、チームでの練習と対戦・演技づくり等)
認知的学習場面(課題解決に向けて集合し情報共有、工夫)
活動2 (認知的学習で焦点化・共有化した内容を意識)
- ⑤ ふり返り、次時の活動の見通し、元気に挨拶

公開授業

たのしい できそう いっしょにもっと! 運動好きな十津っ子

1年生 鬼遊び



2年生 マットを使った運動遊び



3年生 多様な動きをつくる運動



4年生 リズムダンス



5年生 ハードル走



6年生 病気の予防



講演「体育科における主体的・対話的で深い学び」 講師:スポーツ庁政策課 塩見英樹 教科調査官

日々の子どもの姿から、「主体的・対話的で深い学び」の姿を考えましょう。具体的姿をイメージして授業に臨むことが大事です。



『安全』というフレームの中で楽しくて身に付く体育科の創造を

125名のご参加がありました



対話的な学び

input → output

①知識

どうやってやるの?

③課題解決のための知識

もっと新しい技に挑戦したい!

思考判断

できた! こうやればできる!

②技能

できた! こうやればできる!

④表現

こうするんだよ。昨日よりよくなった!

運動の楽しさや喜び

深い学び

豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成

運動って、体力の向上につながるんだね

マット運動は、跳び箱の楽しさと似てるね

運動には、「する・見る・支える・知る」という楽しさもあるんだね

コンピテンシー 資質・能力

見方・考え方

コンテンツ 内容

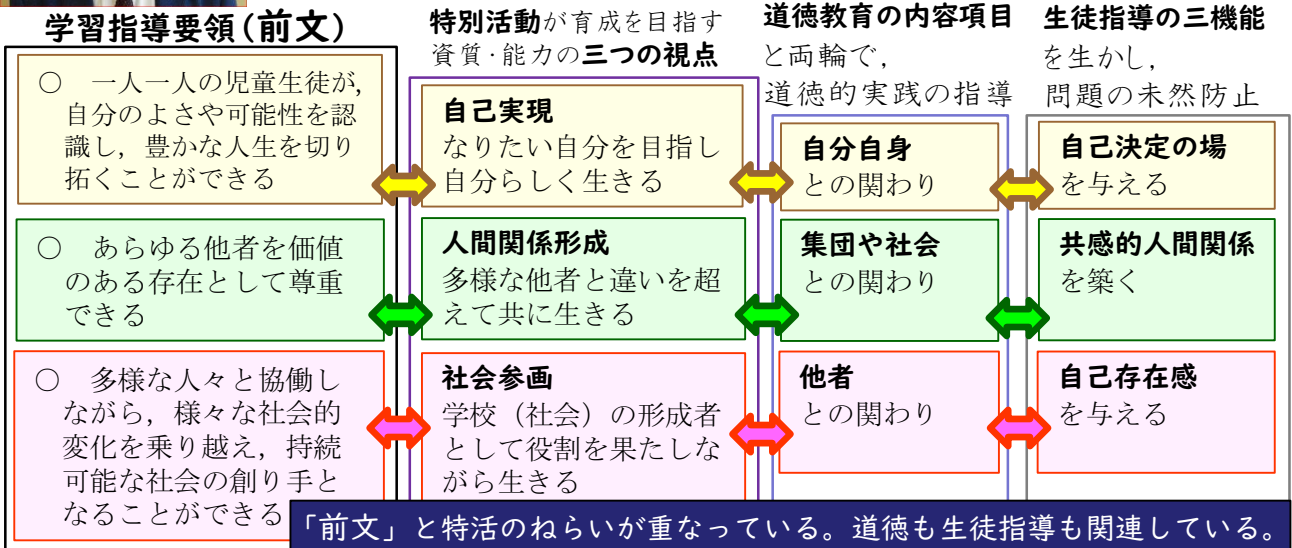
マット運動(という内容)をとことん楽しむ

【予告】令和3年度中・四国小学校体育研究大会は、高知市立十津小学校を会場に開催される予定です。

「キャリア教育の要としての特別活動の推進－3つの生き方を育て、今と未来をつなぐ－」
 講師：國學院大學 杉田 洋 教授



「学習指導要領解説 総則編」には、特別活動はキャリア教育の要であることが明記されています。「特別活動編」には、特別活動の役割は、学校における集団活動や体験的な活動を通して、各教科や道徳等で身に付けた力を、実際の生活において生きて働く汎用的な力とするための人間形成の場であるとしています。目的性、能動的、自覚的に学ぶ・働く・生きる姿を実現しませんか。



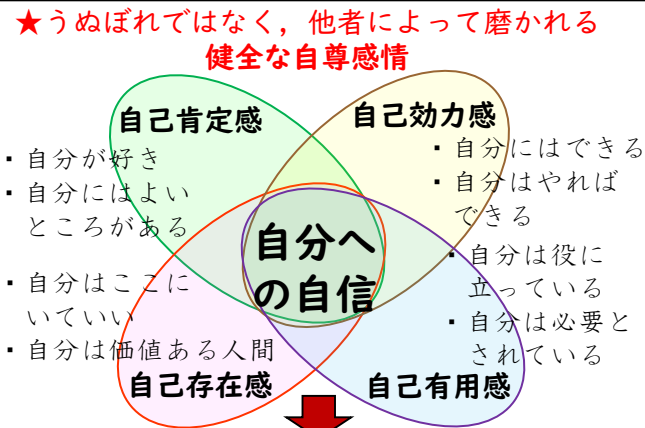
- 特別活動の充実で、基礎的・汎用的な能力を育成しましょう！
- ★ 「一人一人のキャリア形成と自己実現」の授業の充実と、「意思決定」が反映されているキャリアパスポートを活用しましょう。
 - ★ 自己実現の資質・能力の育成のプロセスを重視した、「意思決定+努力=自己効力感」を意識しましょう。↓
 - 「私たちの課題をつかむ」▶「さぐる」▶「見付ける」▶「私の解決策を決める」
 - ★ 自治的な活動や学校行事等の体験的な活動を通して、人間関係形成や社会参画の資質・能力を育成しましょう。↓
 - 「私は、で出し合う」▶「分かり合う」▶「比べ合う」▶「私たちにとって、を決める」
 - ★ 褒める、励ます、を指導の基調にしましょう。
 - ★ 自己有用感に裏付けられた自尊感情を育てましょう。
 - ★ 期待し、要求し、見取って、価値付けする…しているか確認！

★ 意思決定の大切さを図で考えよう
 (出典：東北大学加齢医学研究所)

Q 成績最高群はどのグループ？ (答えは下)

外的動機付け ↑	大	Ad	AD
	小	ad	aD
		低	高

〈例〉 **内的動機付け**
 aD: 保護者の要求が小さく、子どものやる気が高い



受講者の感想

- ・ 特別活動にしかない「合意形成」「意思決定」、AIが急速に進展する中での学校教育が担う役割について考えさせられた。教師が大切にしなければならない「人としての成長のための特活」をしっかり学び、生かしていきたい。
- ・ 学校で学ぶ意味、人は人の中で成長すること、子どもの学びを支援できる喜びを感じることができた。
- ・ 特別活動に関して印象に残ったのは、特活は意思決定を伴う活動が大変重要であるということだ。特に、合意で得られたことが、必ずしも最適解ではなく、納得解であることを児童に知らせておきたい。競争や比較ではなく、自尊心を育てる活動をしていきたい。

自立 (自律と成長, 自己実現) 頑張る力・生き抜く力
共生 (差異の受け入れ, 社会参画) 認め合い・支え合う力